

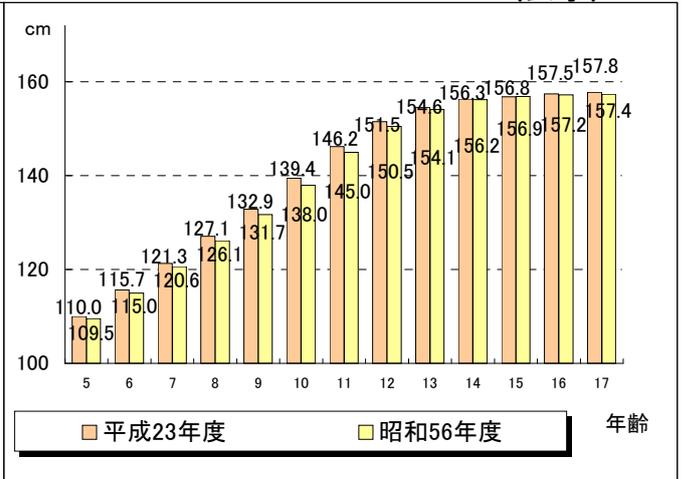
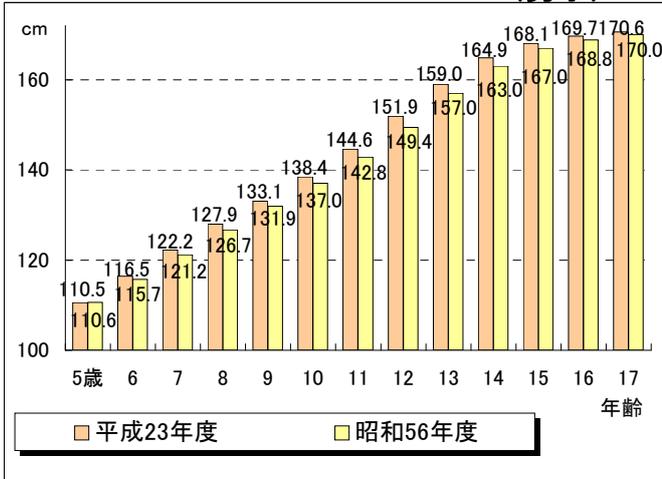
(3) 昭和56年度（親世代：30年前）と平成23年度の比較

年齢別身長

親世代と比較すると男子の5歳と女子の15歳以外の年齢が親世代を上回っていた。最も差がある年齢は、男子の12歳で2.5cm、女子の10歳で1.4cmであった。

(男子)

(女子)

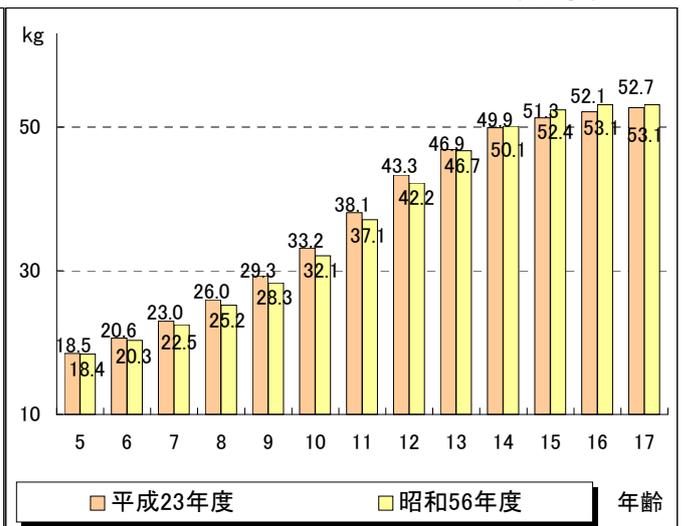
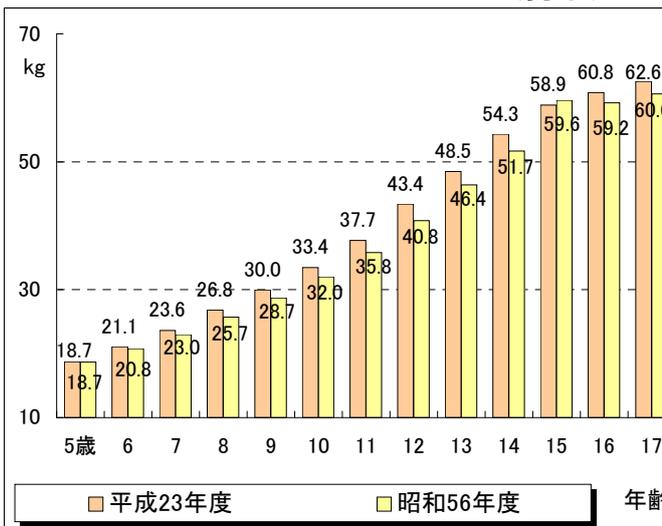


年齢別体重

親世代と比較すると男子の5歳と15歳、女子の14歳から17歳以外の年齢が親世代を上回っていた。差が最も大きい年齢は、男子の12歳と14歳で2.6kg、女子は10歳と12歳で1.1kgであった。また、親世代を下回った女子の15歳も1.1kgの差であった。

(男子)

(女子)



年齢別座高

親世代と比較すると男子の5歳から7歳、女子の5歳から7歳と15歳以外の年齢が親世代を上回っていた。差が最も大きい年齢は、男子の14歳で1.7cm、女子の12歳で1.1cmあった。

(男子)

(女子)

